

## 第2章 | 環境保全施策の推進

「目黒区環境基本計画」に掲げた5つの基本方針に沿って、2020（令和2）年度に実施した主な環境保全施策の内容について報告します。

### 基本方針1 省エネのまちづくり

## 地球温暖化対策を推進する

#### 〔将来像〕

一人ひとりが省エネルギーを中心に、できることから地球温暖化対策に取り組むとともに、エネルギーを効率よく生み出し、賢く利用する最先端の技術を暮らしに取り入れることで、快適な都市生活を享受しつつ、エネルギーを無駄なく効率的に利用し、温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を大幅に削減した省エネのまちを実現します。

#### 〔取組方針〕

こうした将来像を目標に、エネルギーを大量に消費する社会から、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換に取り組むとともに、エネルギーを賢く使う住環境の整備を進めていきます。



（イラストはイメージです）

## 指標の評価

😊：目標値を達成    😊：目標値に近づいている    😞：目標値に近づいていない    -：現状値を把握していない

指標項目	基準年度	基準年度末 時点実績値	2020 (令和2) 年度末実績値	目標	評価
成果指標					
省エネ行動に取り組んでいる人の割合※ <sup>1</sup>	2016	81.7%	80.8%	増加	😞※ <sup>2</sup>
関係計画に基づく成果指標					
二酸化炭素排出量※ <sup>3</sup>	2010	1,087 千t-CO <sub>2</sub>	1,010 千t-CO <sub>2</sub> (2018《平成30》 年度実績値)※ <sup>4</sup>	2010(平成22)年度 を基準とし、区域全体 で2014(平成26)～ 2020(令和2)年度の 間に毎年度1%以上、 2020(令和2)年度に おいて7%以上削減	😊
エネルギー消費量	2010	13,215 TJ	10,769 TJ (2018《平成30》 年度実績値)※ <sup>4</sup>	2020(令和2)年度に おいて7%以上削減	😊
取組点検項目					
「めぐろ笑エネトライ」 参加件数(☆)	2015	31件	31件	増加	😊
めぐろグリーンアクション プログラム(事業所版) 参加件数(☆)	2010	23件	24件	増加	😊
住宅用新エネルギー及び 省エネルギー設備設置費 助成件数(☆)	2010	140件	136件	増加	😞
街路灯のLED化	2017	732灯	644灯	推進	😊
環境配慮型の道路整備	2017	保水性舗装 遮熱性舗装 10,122m <sup>2</sup>	保水性舗装 708m <sup>2</sup>	推進	😊

※<sup>1</sup> P81、82の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★1マークの項目の集計結果の平均値から算出。

※<sup>2</sup> P71「標本誤差について」により、数値の増減は誤差の範囲内のため、評価は「目標に近づいている」としました。

※<sup>3</sup> 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」では、「地球温暖化対策推進法」の対象である温室効果ガス(7種類)のうち、区の排出量の96%以上を占める「二酸化炭素」が対象。

※<sup>4</sup> 目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)の計画期間は、2020(令和2)年度まで。最新値は2018(平成30)年度の数値。出典：「特別区の温室効果ガス排出量〈1990《平成2》～2018《平成30》年度〉」オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2021(令和3)年3月発行

## 2020(令和2)年度の成果

- 二酸化炭素排出量は基準年度末実績値に対して7.1%減少、エネルギー消費量は18.5%減少しています。
- 「めぐろ笑エネトライ」及びめぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)参加件数は目標を達成できました。「めぐろ笑エネトライ」は2020(令和2)年度で事業終了となります。めぐろグリーンアクションプログラム(事業所版)は継続して事業所に参加いただけるよう努めていきます。
- 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成件数は2019(令和元)年度より増加したものの、低炭素ライフスタイルへの転換の取組をより推進していく必要があります。
- 街路灯のLED化は着実に進んでおり、2020(令和2)年度は644灯をLED化しました。

**施策の進め方**

区域の大部分が住宅地で占められている目黒区において、地球温暖化対策を進めるには、こまめに節電する、公共交通機関や自転車を利用する、自動車を運転するときはエコドライブを心がけるなど、区民が日常のライフスタイルの中で具体的にできることを行動に移し、ライフスタイルを転換していくことが重要です。

区内にオフィスや店舗を構える事業所においても、そこで働く一人ひとりが日常の事業活動の中で省エネルギー行動を推進していくことが大切です。

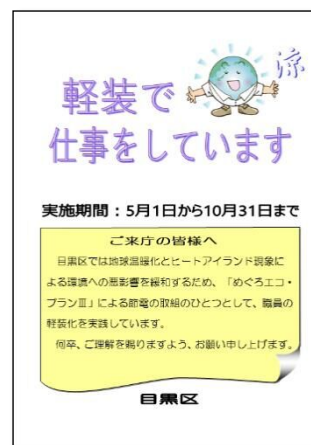
このため、区では、区民、事業者に向けて、低炭素のライフスタイル、事業活動の実践につながる普及啓発、支援を進めていきます。

● **省エネ・節電行動の推進**

省エネ行動を推進するにあたり、区が率先して省エネ・省資源に取り組むため、職員向けの研修や啓発を行いました。

また、区有施設における節電対策の一環として、5月1日から10月31日までの期間に、節電の取り組みを進めながら軽装で仕事を行う「節電ビズ」を実施しました。

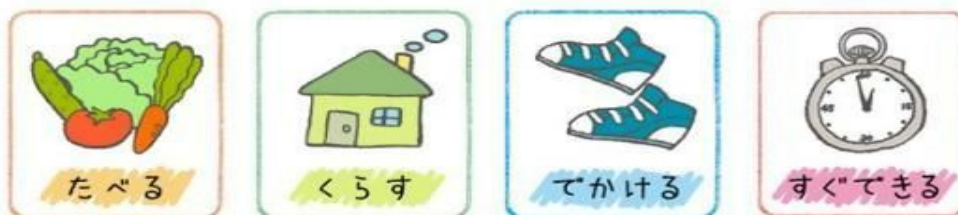
<節電行動の庁内周知用チラシ>



● **「めぐろスマートライフ」での情報発信**

区では、エコライフめぐろ推進協会と連携・協力し、ホームページ「めぐろスマートライフ」を公開しています。このホームページは、より快適で便利な、思わずトライしたくなるようなアイデアやコツなどの情報を発信し、めぐろスマートライフ（環境にやさしい行動を賢く選択できる暮らし方）を実践していくことで、低炭素社会の実現を目指すものです。一方的な情報提供だけでなく、区民からもアイデアや体験談を募集し、双方向の発信を目指しています。

2020（令和2）年度は、料理レシピのコミュニティウェブサイト「クックパッド」に「スマートライフレシピ」の一部を掲載しました。また、目黒区子育て支援課が運営する「めぐろ子育てホットナビ」、環境省の「プラスチックスマート」、東京都環境局の「チームもったいない」にめぐろスマートライフの情報を掲載する等、めぐろスマートライフの幅広い周知に努めました。



**めぐろスマートライフ** Meguro Smart Life

エコロジーや省エネルギーを賢く楽しみながら実践できる情報を発信中です！

<めぐろスマートライフ ログ>

## ●エコドライブの普及促進

環境に配慮した運転の普及啓発を図るため、区ホームページに、「エコドライブ」の記事を掲載し、ふんわりアクセル「eスタート」や、早めのアクセルオフなどの「エコドライブ10のすすめ」を紹介しました。

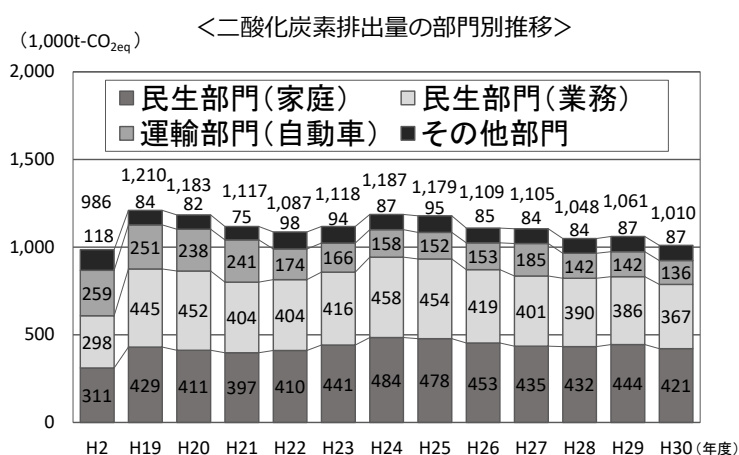
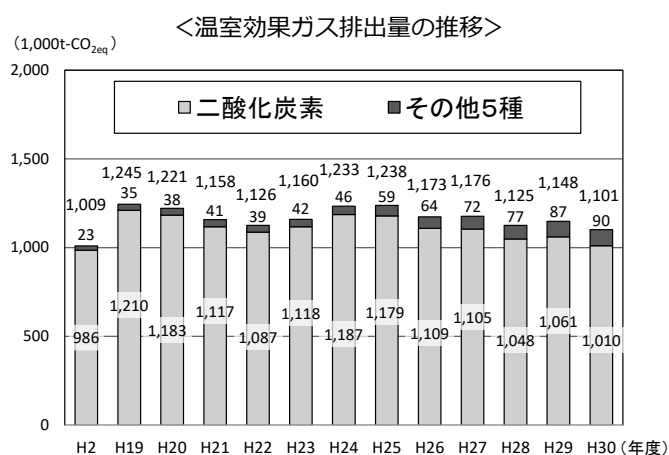


〈しろくま フロートくん〉

## ●目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）の推進

「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」では、将来像を「みんなでつくる みどりと省エネのまち めぐろ」と設定し、二酸化炭素排出量・エネルギー消費量<sup>1</sup>の削減目標を定め、区民、事業者、区が一体となって削減目標達成に向けた取組を、「目黒区地球温暖化対策地域協議会」とともに推進しています。

「目黒区地球温暖化対策地域協議会」を2回（5月、10月）書面開催しました。また、下表に示す事業を行いました。



※1 四捨五入の関係から合計が一致しない場合があります。

※2 2007（平成19）・2008（平成20）年度に温室効果ガスが増えた要因には、2007（平成19）年度の新潟県中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の停止を受け、火力発電による発電量の割合が大きかったことがあげられます。

出典：「特別区の温室効果ガス排出量〈1990《平成2》～2018《平成30》年度〉」オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2021（令和3）年3月発行

### 〈地球温暖化対策の推進に関する主な取組〉

① 住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成	太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ給湯器、マンション共用部LED照明などの導入を支援
② 「めぐろエコの森」の維持管理	下草刈り2回（6月から8月の間）、忌避剤散布を実施
③ 地球温暖化対策啓発事業	地球温暖化防止月間に、区報や区ホームページなどによる啓発を実施
④ めぐろ笑 エネトライ	家庭で楽しみながら省エネに取り組める事業として実施

<sup>1</sup> 2010（平成22）年度を基準とし、区域全体で2014（平成26）～2020（令和2）年度の計画期間に、二酸化炭素排出量・エネルギー消費量を毎年度1%以上、計画最終年度（2020《令和2》年度）において7%以上削減する。

## ●未就学児や小学校の低学年向けの地球温暖化対策の普及啓発

未就学児や小学校の低学年向けの地球温暖化対策の啓発絵本「しろくまフロートくんのおねがい」を、ご家庭で気軽に楽しんでもらえるよう、人形劇（ペープサート）の動画を作成し、「めぐろ子育てホッ！とナビ」の子育て動画ライブラリに掲載しました。

絵本は、図書館で借りることや、区ホームページで電子書籍版を読むこともできます。



<しろくまフロートくんのおねがい>

## ●環境に配慮した事業活動の支援

太陽光発電の導入やエコカーの購入など、環境に配慮した設備を積極的に導入するよう、中小企業者を対象とした融資あっせんに優遇利率を適用しています。

融資あっせん実績は、太陽光発電が2件、低公害車の導入が0件、高効率空調設備が0件でした。

### ◇2021（令和3）年度に実施する主な施策の内容

- 太陽光発電の導入やエコカーの購入などを目的とした融資制度について、利子補給を上乗せすることにより、環境対策に取り組む中小企業への支援を継続します。
- 環境への負荷の少ない商品の購入などに関する普及・啓発を図ります。



### ペンゴろうじいさんからの一言

## エコドライブ10のすすめ

運輸部門の二酸化炭素排出量のうち、自家用車からの排出が約半分を占めています。ハイブリッドカーや電気自動車などが普及しつつありますが、運輸部門の二酸化炭素排出量削減のためには、環境に配慮した自家用車使用の促進が求められます。

### 内容紹介

- ① ふんわりアクセル「eスタート」
- ② 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- ③ 減速時は早めにアクセルを離そう
- ④ エアコンの使用は適切に
- ⑤ ムダなアイドリングはやめよう
- ⑥ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ⑦ タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ⑧ 不要な荷物はおろそう
- ⑨ 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- ⑩ 自分の燃費を把握しよう



やさしい発進を心がけましょう



無用なアイドリングをやめましょう

WEB 「エコドライブ普及推進協議会」ホームページ [URL] <http://www.ecodrive.jp/>



トピックス

脱炭素に向けた国内の動き

今、地球温暖化により、かつて経験したことのないような気候の変化が生じています。それは、極端な豪雨や高温などによって、世界各地で自然災害が相次ぎ、私たちの生命や財産、様々な生物に甚大な被害を生じさせています。例えば、日本では2019（令和元）年の台風19号が、各地に甚大な被害をもたらしましたが、日本周辺の海水温度の上昇が影響していると考えられています。

こうした気候の変化を受けて、地球温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>の排出量を、2050（令和32）年前後には正味ゼロにする必要があることが、2018（平成30）年の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）で公表した「1.5℃特別報告書」に示され、世界中で「脱炭素社会」へ転換していくための取り組みが活発化しています。

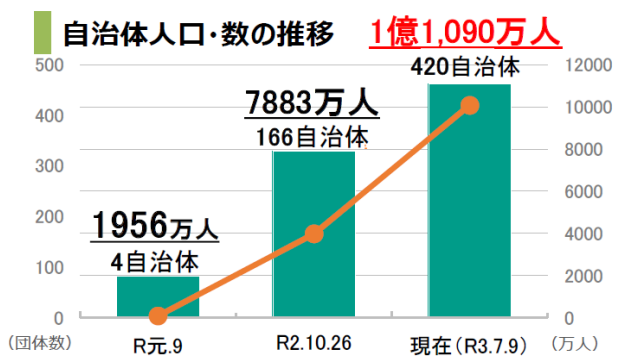
こうした動きを踏まえ、日本や東京都でも様々な取り組みが行われています。

日本の動き：2050年カーボンニュートラル（脱炭素化）の宣言

2020（令和2）年10月26日、第203回臨時国会の所信表明演説において、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成することを意味しています。

またそれに伴い、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した地方公共団体が増えつつあります。

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明自治体  
2021年7月9日時点



出典：環境省ホームページ

東京都の動き：ゼロエミッション東京戦略 2020 Update & Report

東京都は、2019（令和元）年5月に開催されたU20東京メイヤーズ・サミットで、平均気温の上昇を1.5℃に抑えることを追求し、2050年にCO<sub>2</sub>排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言しました。

その実現に向けた取組やロードマップをまとめた「ゼロエミッション東京戦略」を2019（令和元）年12月に策定し、その1年後の2021（令和3）年3月には気候危機の深刻化を受け、「ゼロエミッション東京戦略 2020 Update & Report」を公表しました。



<ゼロエミッション東京戦略 2020 Update&Report>

**施策の進め方**

温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を大幅に削減していくためには、区民、事業者が省エネルギー行動を進めると同時に、建物や設備の面からも省エネルギー化を進めることが重要です。

このため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）<sup>2</sup> やネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）<sup>3</sup> を視野に入れ、家庭や事業所における太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入、省エネルギー機器の普及を図るとともに、公共施設においても再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、外断熱化等、建物の省エネルギー性能の向上に取り組みます。

**●再生可能エネルギーや省エネルギー設備等の導入促進**

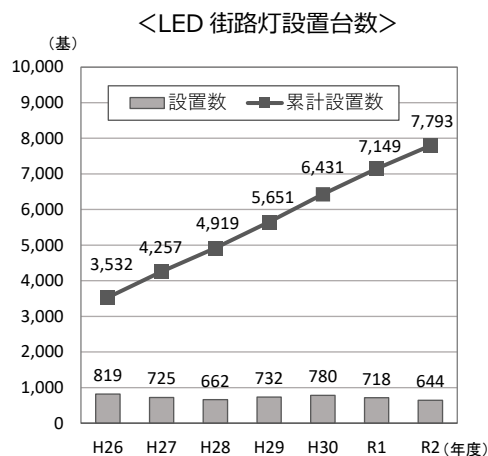
太陽光発電システムなどの設置費を助成することで、家庭における再生可能エネルギーの普及を図りました。

2020（令和2）年度の助成件数は、太陽光発電システムが33件、家庭用燃料電池システムが28件、家庭用蓄電システムが40件、CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ給湯器が10件、HEMS（家庭用エネルギー管理システム）が14件、マンション共用部LED照明が8件、エコ住宅（東京ゼロエミ住宅及びネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH））が3件でした。

**●公共施設の低炭素化の推進**

区有施設の改修・改築時に、省エネルギーに配慮した施設の整備を推進するため、区内の小中学校15校や防災センターほか15施設に、LED照明を導入しました。

また、交換時期にあわせてLEDの街路灯を644基設置し、合計で7,793基になりました。



◇ 2021（令和3）年度に実施する主な施策の内容

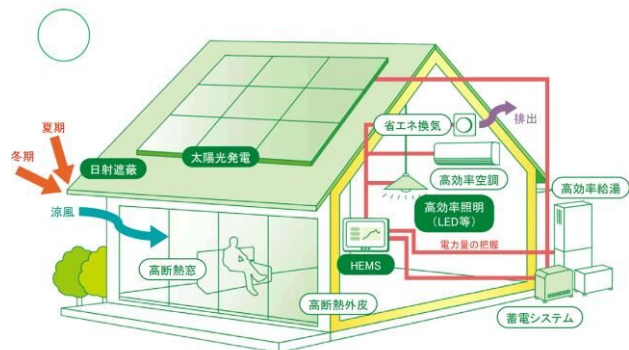
- ・家庭への再生可能エネルギーや省エネルギー設備などの導入を促進させるため、引き続き設置費の助成を行います。
- ・「目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画（めぐろ エコ・プランⅢ）」に基づき、区の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの削減や環境負荷の低減に向けた取組を推進します。

<sup>2</sup> ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）：住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電などによってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロとなる住宅のこと。

<sup>3</sup> ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）：建築構造や設備の省エネルギー、再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用、地域内でのエネルギーの面的（相互）利用の対策をうまく組み合わせることにより、エネルギーを自給自足し、化石燃料などから得られるエネルギー消費量がゼロ、あるいは、概ねゼロ、となる建築物のこと。

## エコ住宅（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス等）

区では、家庭での省エネルギー行動を促進するとともに、建物・設備の面からも省エネルギー化を進め、脱炭素社会形成に向けた住環境整備を展開していくため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の普及啓発を進めています。また2019（令和元）年度から都が取り組んでいる東京ゼロエミ住宅についても普及啓発を進めています。



＜ZEH のイメージ＞

出典：資源エネルギー庁ホームページ

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）とは、高断熱でエネルギーを極力必要としない（夏は涼しく、冬は暖かい住宅）、高性能設備でエネルギーを上手に使う、エネルギーを創る、という要素を持った住宅のことです。

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）のメリットとして、以下のようなものがあげられます。

### ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）のメリット

#### (1) 経済性

高い断熱性能や高効率設備の利用により、月々の光熱費を安く抑えることができます。さらに、太陽光発電等の創エネについて売電を行った場合は収入を得ることができます。

#### (2) 快適・健康性

高断熱の家は、室温を一定に保ちやすいので、夏は涼しく、冬は暖かい、快適な生活が送れます。さらに、冬は、効率的に家全体を暖められるので、急激な温度変化によるヒートショックによる心筋梗塞等の事故を防ぐ効果もあります。

#### (3) レジリエンス

台風や地震等、災害の発生に伴う停電時においても、太陽光発電や蓄電池を活用すれば電気が使うことができ、非常時でも安心な生活を送ることができます。

区では、地球温暖化対策を推進し、家庭部門の二酸化炭素排出量を削減するための取組のひとつとして、太陽光発電システム等の住宅用新エネルギー・省エネルギー設備の設置費の一部を助成しています。

詳しくは、区ホームページをご覧ください。

WEB

トップページ > くらし・手続き > 自然・環境・ごみ > 地球温暖化対策 > 新エネルギー及び省エネルギー設備設置費の一部を助成します



**施策の進め方**

温室効果ガスの削減を進めても世界の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて、気候変動の影響のリスクが高くなると予測されています。気候変動の影響に対処するため、温室効果ガスの排出の抑制等を行う「緩和」に加え、すでに現れている影響や中長期的に避けられない影響に対して「適応」を進めることが求められています。

また、区内では、ヒートアイランド現象による気温上昇の影響もみられ、熱帯夜が増加傾向にあるほか、集中豪雨との関連性も指摘されています。

これらの影響に対する適応策として、熱中症・感染症予防対策に関する普及啓発、ヒートアイランド現象及び都市型水害への対策を推進していきます。

**●ヒートアイランド現象への対策（環境配慮型の道路整備）**

ヒートアイランド対策の一環として、目黒川沿いのエリアにおいて、保水性舗装を708㎡整備し、環境配慮型の道路整備を行いました。2020（令和2）で目黒川沿い道路の保水性舗装整備は完了しました。



<保水性舗装した道路>

**●ヒートアイランド現象への対策（緑化の推進）**

緑化は、ヒートアイランド対策や地球温暖化対策に大きな効果があります。「目黒区みどりの条例」に基づく緑化や緑化に対する助成を行うなど、ヒートアイランド対策としての緑化を進めました。公共施設では、下二南街かど公園において緑化を完了しました。



<みどりのカーテン>

**●ヒートアイランド現象への対策（打ち水等）**

新型コロナウイルス感染症対策のため参加者の公募は中止し、代わりに職員が行った打ち水の効果を目黒区エコプラザ内に展示しました。また、「打ち水のやり方」のチラシの配布も行いました。



<打ち水大作戦 in 田道ふれあい館>  
令和元年度の様子

● 熱中症・感染症予防対策に関する普及啓発等

区では、区報や区ホームページ等を通じて、熱中症予防や熱中症警戒アラートの周知及び啓発・感染症予防対策に関する普及啓発に努めました。

また、高齢者の熱中症対策事業の一環として、区の施設（高齢者センター1か所、老人いこいの家24か所）を「涼み処」として開放しました。「涼み処」では、エアコンや扇風機を稼働させるとともに、水分補給のために麦茶などを常時用意し、熱中症の予防を推進しました。

● 都市型水害への対策

雨水の地下への浸透を進め、都市型水害を防ぐために、3か所の雨水浸透柵の整備、歩道や公園における透水性舗装整備を実施しました。さらに、雨水流出抑制施設の整備を図るため、「雨水流出抑制施設設置に関する指導要綱」に基づく事業者との協議や「雨水流出抑制施設等設置助成要綱」に基づく個人に対する助成を行っていました。

2020（令和2）年度は啓発用の雨水タンクを中目黒公園、駒場野公園に1基ずつ設置しました。



<中目黒公園 雨水タンク>



<敷地内の雨水浸透トレンチ>



<敷地内の雨水浸透柵>

◇ 2021（令和3）年度に実施する主な施策の内容

- ・「目黒区みどりの条例」に基づき、公共施設の緑化を推進します。
- ・道路沿いの緑化や建築物の屋上・壁面などの緑化に対して、助成を実施します。
- ・区報、区ホームページにおいて打ち水の啓発記事を掲載し、区民に周知・啓発を行います。
- ・都市型水害への対策のために、雨水流出抑制施設の整備の促進を図ります。
- ・「目黒区豪雨対策計画」に基づき、透水性舗装や雨水浸透柵などを整備します。
- ・雨水タンクの設置費の助成を行います。